

盲学校だより

石川県立盲学校 第15号
令和5年7月20日(木)発行



雪・月・花



〒920-0942
金沢市小立野5丁目3番1号
TEL 262-9181
FAX 222-0214

「豊かな体験を」

盲学校教頭 座主 真奈美

本校では、視覚障害のある児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める中で、実際に触れたり、体験したりしながら学べるよう取り組んでいます。

1学期には、筑波大学付属視覚支援学校で教鞭をとられていた浜田志津子先生を講師にお迎えし研修会を行いました。その際に、浜田先生から、「体験は特別なことでなくてもよい。日常の中で、大人が教えられることを教えることが大事。」とお話がありました。お風呂の中で洗面器を裏返して湯船に沈めたときに、ポコッと音を立てて大きな泡が出ること、手をお椀の形にして水をすくうこと、物が壊れるとは、いつの間にか片づけられてなくなるものではないことなどの例から、経験が言葉の理解や学習の中でのイメージ作りにつながることを教えていただきました。晴眼者であれば見て理解する日常のことを、経験・体験することが大切だと改めて感じました。

これからも、学校の教育活動の中で、体験を取り入れた学習、そして、児童生徒が様々な活動に意欲を持って取り組めるような関係づくりや言葉かけを大事にしていきたいと思えます。

今後も、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

校内弁論大会 6月7日(水)

6月7日(水)に弁論大会が行われました。中学部、高等部から10名の弁士が参加しました。

当日を迎えるまで、一人一人が主張したいテーマを決め、自分と向き合い論旨を考えてきました。当日はどの弁士も力強く、落ち着いて発表し、今まで練習してきた成果を出せたようでした。また、他の弁士の弁論を聞くことで様々な考え方に触れ、視野を広めるきっかけにもなりました。

今年度の最優秀賞は高等部普通科2年の横山莉世さん、優秀賞は中学部3年の酒井翔太さんでした。最優秀賞の横山さんは7月7日(金)に愛知県岡崎市で行われる中部地区盲学校「お話と弁論の会」に本校代表とし、優秀賞となりました。



最優秀賞

横山 莉世 「過去から気づいたこと」



優秀賞

酒井 翔太 「やればできる」

「小学部 親子体験学習」 6月16日（金）

今年有加賀・小松方面へ出かけました。「かがにこにこパーク」では、日本海側最大級のネット遊具で飛び跳ね、くたくたになりましたが、発酵食レストランで元気回復！「こまつ の杜」では、ガイドさんが準備してくれた模型を確かめてから、実物のパワーショベルを操作したり、大型ダンプカーのタイヤや運転席に触れたりしました。子どもも大人も楽しみ、感心しきりの体験学習でした。そして、盛り上がったバスでの行き帰りも魅力の一つでした。



「中学部 修学旅行」 5月31日（水）～6月2日（金）

中学部3年生の4人で関西方面へ修学旅行に行ってきました。食品サンプルのたこ焼きキーホルダーを作ったり、オリジナルカップヌードルをデザインしたりと、1日目は制作活動を楽しみました。ホテルでは、とても景色の良いレストランでバイキングを存分に楽しみました。2日目はUSJでみんなの行きたいアトラクションを順番にまわりました。アトラクションや買い物を楽しみながらも、集団行動のルールを守る姿も見られました。3日目は、大雨による電車の計画運休が発表されたため、予定を繰り上げて見学はせず石川県に帰ってきました。このときも予定が変わったけれど、大きな荷物を抱えながら時間のない中、乗り換えを全員で協力して頑張りました。思い出がたくさん残った修学旅行となりました。



「北信越盲学校フロアバレーボール大会」

6月29日（木）～30日（金）

6月29日(木)・30日(金)の両日、長野運動公園総合運動場・総合体育館で、第8回北信越盲学校フロアバレーボール大会が行われました。去年は勝利することができず、悔しい思いをした選手たちは、1日目の富山戦で勝利を収め、2日目の優勝を賭けた長野・松本合同チーム戦では、健闘したものの勝利を掴むことはできませんでした。しかし、試合を通して、チームのまとまりや選手個人の成長が感じられ、とても実りのある大会となりました。



リフレッシュウィークのお知らせ

8月11日(金)～17(木)は、県立学校は、リフレッシュウィークとなり、8月14日(月)～17日(木)を学校閉庁日とします。
ご理解とご協力をお願いします。なお、事務室は業務を行っています。

